

教材名	A話すこと・聞くこと					B書くこと													
	指導事項			言語活動例		指導事項			言語活動例										
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ウ	エ				
	関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。	相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。	相手をしたり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。	話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。	互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。	出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。	学級全体で話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。	図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。	関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。	文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。	文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。	書くこととするこの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。	文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。	書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。	身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりすること。	疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。	収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。	目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。
ばらばら言葉を聞き取ろう			◎																
春のうた																			
白いぼうし														・		★			
漢字の組み立て																			
漢字辞典の使い方																			
春の風景									○										
よりよい話し合いをしよう（話す言葉は同じでも）					◎		★												
大きな力を出す／動いて、考えて、また動く																			
漢字の広場①														・					
短歌・俳句に親しもう（一）																			
新聞を作ろう（アンケート調査のしかた／新聞にのせる写真や図などを選ぶときには）									◎	◎		○				★			
いろいろな意味をもつ言葉																			
ふるやのもり																			
一つの花									○		・								
夏の風景													○		★				
自分の考えをつたえるには										◎	○	○							
漢字の広場②													・						
「読むこと」について考えよう／かげ（読みたい本の見つけ方）																			
忘れもの／ぼくは川																			
カンジーはかせの漢字しりとり																			
だれもが関わり合えるように（手と心で読む）	◎	◎	・	○		★													
漢字の広場③													・						

教材名	A話すこと・聞くこと					B書くこと													
	指導事項			言語活動例		指導事項			言語活動例										
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ウ	エ				
	ア 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。	イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。	ウ 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。	エ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。	オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。	ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。	イ 学級全体で話し合つて考えをまとめたり、意見を述べ合つたりすること。	ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。	ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。	イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。	ウ 書くこととするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。	エ 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。	オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。	カ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。	ア 身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりすること。	イ 疑問に思つたことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。	ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。	エ 目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。	
ごんぎつね												○	・	★					
秋の風景									○						★				
慣用句																			
アップとルーズで伝える（言葉で変わる写真の印象）																			
「クラブ活動リーフレット」を作ろう										◎	○							★	
短歌・俳句に親しもう（二）																			
プラタナスの木																			
漢字の広場④													・						
文と文をつなぐ言葉													○						
のはらうた																			
野原に集まれ									◎					○	★				
冬の風景													○						★
ウナギのなぞを追って																			
漢字の広場⑤													・						
聞き取りメモの工夫	○																		
熟語の意味																			
わたしの研究レポート										◎	◎	・	○			★			
ましがえやすい漢字																			
初雪のふる日																			
漢字の広場⑥													・						
十年後のわたしへ										◎			○						★

